

有害雑誌を追放

大人の責任で買わない、見せない、読ませない

教育公害とまでいわれている有害雑誌等自動販売機による俗悪雑誌のはんらんは目に余るものがありますとくに有害雑誌対策及び自動販売機による有害雑誌の追放は関係機関、団体等の強力なバックアップにより地域住民運動にまで進展、この結果自動販売機の内容改善や撤去など、かなりの成果をあげているものの依然として有害雑誌はあとをたたず、青少年の健全な育成を阻害しています。

そこで社会教育推進会連合会、町内会連合会、PTA連絡協議会、子ども会世話人連絡協議会、連合婦人会、青年団連絡協議会、文化連盟、青少年補導委員会、民生児童委員連絡協議会の9団体で組織している富士市青少年問題協議会では、7月23日午後1時から市内御幸町大交番に本部を置き「有害雑誌追放」の呼びかけ運動と「青少年補導」を市内全域にわたって大がかりに展開します。

実施の方法は、それぞれの関係機関や団体等が総出で有害雑誌は「大人の責任で、買わない、見せない、読ませない」の三悪追放のチラシを街頭補導しながら雑誌スタンド販売店等に配布します。

富士市青少年補導センターの話によると、女子少年非行は年々エスカレートし、年令も13才の中学生から

16才～17才の高校生の年代が全体の53%と増加しています。

非行防止対策

不良化から守るには

青少年の問題をにつめて見ると、その多くは両親や家庭に問題がありますが、何といても、明るい家庭



や住みよい郷土づくりの根本は「人づくり」にあります。そこで私達市民一人一人、特に大人が自覚と責任をもって青少年を育てなければならぬ義務があると思います。

★家庭では

親と子、家族がなんでも話しあえる明るいふんいきが特に必要です。さらに富士市の特徴は共かせぎ家庭

が多く、中心部では75%以上が共かせぎであるといわれていますが、扱った少年非行の60%が共かせぎ家庭となっています。

★愛のひと声運動の徹底

自分のこどものしつけに熱心な人でも家庭外の問題に無関心であるという人が案外多い。

よその少年であっても非行や好ましくない遊びが目についたら、自分のこどもと同じように注意してやるのが「愛のひと声」運動です。

市民のみなさんのご協力をお願いします。

★不良化の傾向としてあげられるものは

- ・理由もないのに学校や勤めを休んだり、休まないでもときどきぬけ出したり、遅刻早退をしたりするのは徴候の現れです。
- ・学校や勤め先からまっすぐ家にかえらない。帰宅しても家族の視線をさけるようにしたり、1日の行動を話したがない。こんなことがたび重なると注意が必要です。

※お子さんに悪い友だちができたり非行化のきざしがみえたら、青少年補導センター（教育委員会内）へご連絡ください。

補導センター 51-0123 内線456

市職員を募集

- 採用職種及び人員 清掃業務員 5名
- 受験資格 昭和52年10月1日現在で年令30才以下の健康な男子
- 申込方法 受験申込書（人事課にあります）に記入して人事課へ

申込んでください。

- 申込受付期日 7月25日(月)から8月5日(金)まで
- 試験予定日 8月10日(水)
- 採用予定日 昭和52年10月1日
- 問合せ先 企画調整部人事課
電話51-0123 内線 518